


クラス	総合演習 103	担当教員	佐藤 慎一
	テーマ	学習・教育・ビジネスにおける ICT 活用を考える	
	著書・論文 研究課題等	共著・論文：「学校間交流学习をはじめよう」日本文教出版 2004 「実践型学習のための学習環境デザインとその評価」、CIEC 2007 「SNS に蓄積された実践型学習の記録を閲覧するためのインタフェースの提案と評価」ヒューマンインタフェース学会論文誌 2008 “Practice of Promoting Reflection in Problem-based Learning by Using Social Media and its Viewer”, 2010 研究課題：(1) 学習・教育における ICT 活用 (2) インタフェース開発	

ゼミナール概要

キーワード：ICT、学習科学、教育学、ソーシャルメディア

目的、内容、方法等：

多くの場合、ICT（情報通信技術）自体は、目的そのものではなく、目的を達成するための手段の1つと言えるでしょう。こうした点を共有した上で、本ゼミでは、メンバーの興味・関心分野での目標や夢について共有した後、それらを達成するための効果的な ICT 活用法について討議します。さらに実施計画を立案の上、計画に基づいて実践し、期待した効果が得られたかどうか、グループごとに考え、まとめます。

■ 自らの体験・考え・主張を論理的に表現する

言葉にして伝えるということは基本的なスキルであり、裏付けをしっかりとした上で、論理的に表現・主張することは特に重要です。どのようなテーマ・課題で活動していくにしても、共通に必要なスキルです。最終的なレポート・論文はもちろんのこと、活動過程で各種文書を提出してもう場合にも、この点を常に意識し、飛躍のない、論理的な文書を執筆することを重視します。

■ 各種メディアに対する知識・理解を深め、表現や活動方式の幅を広げる。

ソーシャルメディアの普及等、ネットワークを通じて多くの人が繋がることができるようになり、その結果、ビジネスの方法にまで影響を及ぼしています。各種のメディアを利用するための技術的な障壁も低くなり、個人でも様々なことを行うことが可能です。こうした中で、今後、各種活動において有効に使うことができると考えられるいくつかのメディア・ツールを実践的に活用し、その特性に対する理解を深めていきます。メディア・ツールとしての使いやすさ／使いにくさを批判的に分析した上で、各グループの活動遂行のために活用するものを選択し、メディア・ツールの特性を踏まえた適切な活用法を考え、実際に活用していきます。最終的に、これらの取り組み成果を研究レポートとしてまとめます。

授業計画（スケジュール）：

前期の間は、主に、興味・関心分野を共有の上、その分野での目標設定を行っていきます。同時に、各種のメディア・ツールを体験的に活用しながら、その特性についての理解を深め、設定された目標を達成するために効果的な手法について考えます。検討を踏まえて、取り組み計画として文書にまとめるところまでを目指します。また、今後の調査・研究、また、就職等も念頭に、いくつかの文献を参考にしながら、文章執筆等の基本的なスキルの向上にも取り組みます。

後期には、立案した計画に基づいて取り組みを進めますが、その際には、取り組み過程を着実に記録しながら進めてもらいます。記録を共有することで、活動のプロセスを相互に評価し、よりよい成果が得られるように取り組みます。

使用テキスト

特に指定しません。適宜、資料配布・参考文献提示等を行います。

担当教員からのメッセージ

考えることを諦めず、粘り強く取り組んで行きましょう。修羅場・困難は、一皮むけるための貴重な体験です。こうした場面に出会っても、成長のための絶好の機会と前向きに捉え、楽しむくらいの気持ちで取り組んでもらえたらと思います。